

1. 科目名 (単位数)	社会学概論 (2 単位)		3. 科目番号	GELA1113 GELA1334 GELA1313
2. 授業担当教員	加藤 典子			
4. 授業形態	講義・ディスカッション・グループワーク		5. 開講学期	春期・秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	<p>本科目は、国が定める社会福祉士および精神保健福祉士の養成カリキュラムにおける「社会学と社会システム」(旧カリキュラムでは「社会学理論と社会システム」)に対応するものである。対人援助職に就く者には、被援助者とそのニーズを、社会的な関係性の中で把握することが求められる。人間は社会的な関係の中で生まれ育つものであるし、援助を必要とするような問題(ニーズ)も社会的関係の中から生ずるものだからである。こうしたことから、援助職に就こうとする者には、人間を取り巻く「社会」のなりたちや変化について観察・分析する学問である社会学の学習が必要となるのである。</p> <p>この講義では、社会学の基本的な考えかたと対象について幅広く取り上げる。また、国家試験などで求められる社会学の基本的な用語や知識についても学習する。</p>			
8. 学習目標	<p>学生には下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会についての基礎知識を身につけて、物事をその社会的背景から考えられるようになる。</li> <li>2. 人間と社会の関係について学び、人間を社会的関係の中で捉えられるようになる。</li> <li>3. 社会問題について深く考察できるようになる。</li> <li>4. 人々の生活について多角的に考えられるようになる。</li> <li>5. さまざまな社会学の理論について学び、社会的な考え方ができるようになる。</li> </ol>			
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	<p>講義で配布するワークシートを、アサイメント(宿題)及びレポート課題とみなす。 毎回、指定する範囲まで、教科書を読みながら、ワークシートを完成させること。</p>			
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 3 社会学と社会システム』中央法規出版、2021</p>			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会学の理論や人間と社会の関係を理解し、説明できるようになったか。</li> <li>・現代社会や社会問題についての理解をもとに、自分の考えを述べることができるか。</li> </ul> <p>○評定の方法</p> <p>授業への参加姿勢等 20%</p> <p>レポート等の提出物 50%</p> <p>授業内容の理解度の評価 30%</p>			
12. 受講生への メッセージ	<p>毎回の授業時、基本用語等について質問をするので、事前・事後の学習を必ず行っておく。 履修にあたっては、次のことを最低限守る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定の教科書は授業の際、必ず持参する。</li> <li>2. 別途配布する資料は、正しく整理して必ず保管しておく。</li> <li>3. 授業中の私語や飲食は禁止する。</li> </ol>			
13. オフィスアワー	授業時間の前後			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション(講義の概要) 社会学の視点～社会学の意義と対象	事前学習	シラバスを読んでおく。中村哲氏の活動について調べておく。	
		事後学習	テキスト第1章1節(pp.2～12)を読んで、講義内容の振り返りをする。中村哲氏の活動から、ケースワークとソーシャルワークの関係について考え、まとめておく。	
第2回	社会学の視点～社会学の歴史	事前学習	テキスト第1章2節(pp.13～27)を読んで、要点を整理しておく。	
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。図1-4(p.25)を参考に、社会学の歴史について整理しておく。	
第3回	ミクロ社会学①～相互行為、自己と他者	事前学習	テキスト第5章3節(pp.220～229)と第5章1節(pp.208～213)を読んで、要点を整理しておく。	
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。相互行為についてまとめておく。	
第4回	ミクロ社会学②～社会化、社会システム	事前学習	テキスト第5章2節(pp.214～219)と第2章1節(pp.28～39)を読んで、要点を整理しておく。	
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。社会化についてまとめておく。	
第5回	メゾ社会学①～組織と集団	事前学習	テキスト第2章2節(pp.40～50)を読んで、要点を整理しておく。	
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。組織と集団についてまとめておく。	

第6回	メゾ社会学②～家族とジェンダー	事前学習	テキスト第4章1節 (pp.154～170) を読んで、要点を整理しておく。
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。家族とジェンダーについてまとめておく。
第7回	メゾ社会学③～地域	事前学習	テキスト第2章6節 (pp.88～103) を読んで、要点を整理しておく。
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。地域についてまとめておく。
第8回	マクロ社会学①～社会変動	事前学習	テキスト第2章5節 (pp.77～87) を読んで、要点を整理しておく。
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。社会変動についてまとめておく。
第9回	マクロ社会学②～グローバリゼーション、環境	事前学習	テキスト第2章4・7節 (pp.65～76, 104～111) を読んで、要点を整理しておく。
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。グローバリゼーションについてまとめておく。
第10回	マクロ社会学③～人口	事前学習	テキスト第2章3節 (pp.51～64) を読んで、要点を整理しておく。
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。人口についてまとめておく。
第11回	社会問題①～社会的格差	事前学習	テキスト第3章1節 (pp.112～122) を読んで、要点を整理しておく。
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。社会的格差についてまとめておく。
第12回	社会問題②～差別と偏見	事前学習	テキスト第3章3節 (pp.134～145) を読んで、要点を整理しておく。
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。差別と偏見についてまとめておく。
第13回	社会問題③～労働問題	事前学習	テキスト第4章3節 (pp.183～193) を読んで、要点を整理しておく。
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。労働問題についてまとめておく。
第14回	社会問題④～健康問題、災害と復興	事前学習	テキスト第4章2節 (pp.171～182) と第3章4節 (pp.146～153) を読んで、要点を整理しておく。
		事後学習	講義内容の振り返りと、講義中に示した重要語句を整理しておく。健康問題についてまとめておく。
第15回	社会学の展開～社会政策と社会問題、連携・協働	事前学習	テキスト第3章2節 (pp.123～133) と終章 (pp.230～235) を読んで、要点を整理しておく。
		事後学習	関心のある社会問題の背景・現状・課題・解決策について、文章化する。
期末試験			